

日本代協  
南関東ブロック  
協議会イベント  
2017を開催

粕谷氏(日本興亜)が講演  
事業承継・M&Aセミナー実施

日本代協南関東ブロック協議会(神奈川県代協、山梨代協、小野嘉一郎理事長)は9月15日、神奈川県藤沢市の湘南クリスタルホテルで南関東ブロック協議会イベント2017を開催した。

当日のプログラムでは「事業承継・M&Aトリアルセミナー」を実施した。第一部では損保ジャパン日本興亜代理店業務開発部長の粕谷智氏が「損害保険代理店ができる地方創生支援」をテーマに講演。第二部では日本M&Aセンターの中山あかね氏が、新たにスタートした企画「年商2億円以下の中小企業のマッチングサイト&Biz」について、プロ代理店が税理士等と連携してM&Aにどう関わっていくかを説明した。

粕谷氏は、中小企業庁が今年7月にとりまとめた「中小企業の事業承継に関する集中実施期間について(事業承継5か年計画)」をひきあいに、中小企業の支援については今後5年間が非常に重要になると指摘。同行のとりまとめでは、現状認識として中小企業経営者の高齢化が進んでおり(平均66歳)、今後5年間で30万人以上の経営者が70歳になるにもかかわらず、6割が後継者未定になると推測。また、高齢化が進むことで企業の業績も停滞するとの見方を示している。

こうした状況のなか粕谷氏は、中小企業への事業承継のアドバイザーが少ないことも問題だと危惧し、「損害保険代理店が地方創生に寄与することへの意思を持って、その役割を果たすこともできるはず」と呼びかけた。

また、保険業界とりわけ専門代理店業界に目を転

M&Aサイトを通じ  
プロ代と税理士連携

第二部で中山氏は、プロ代理店専用M&A情報サイト「&Biz(アンドビズ)」の機能面を中心に説明を行い、具体的なマッチング事例を紹介しながらプロ代理店と全

国の税理士等のアドバイザーが「&Biz」を通じて連携可能になるといったサイトの有用性を話した。

また、事業承継に悩む中小企業の社会的背景やすでに地方金融機関が取り組んでいるM&A事業の内容をプロ代理店が理解したうえで、各アドバイザーへの情報提供者となるコーディネーター制度についても紹介した。

当日は42名の代理店が参加し、そこで実施された日本代協推奨の「&Bizコーディネーター認定試験」に臨んだ。

当日は、南関東ブロック長の小野嘉一郎氏(山梨代協会長)と日本代協理事の横山健一郎氏が挨拶を行った。小野氏は中小企業でのM&Aは今後増えてくるだろうとの見方を示し、今回のセミナーの有用さを強調した。

また横山氏も中小企業のM&Aや事業承継に保険代理店が介在する意義を述べ、「今回のセミナーで学び、気づいたことを活動にいかしてもらいたい」と話した。



粕谷氏(左)と中山氏

業承継のアドバイザーが少ないことも問題だと危惧し、「損害保険代理店が地方創生に寄与することへの意思を持って、その役割を果たすこともできるはず」と呼びかけた。

また、保険業界とりわけ専門代理店業界に目を転



横山理事



小野ブロック長